

稲山会通信

第31号

2015年7月1日発行

発行人：斉藤雄二 発行所：稲門山の会事務局 TEL 03-3367-3723 FAX 03-3367-8150 ©稲門山の会1998

2015年 稲門山の会新年会報告

島田弘康（S46年卒）記

立春を過ぎたとはいえ寒さ厳しい2月7日、新旧会長及び現役4名を含む51名の参加を得て2015年度の総会・新年会が大隈会館で盛大に開催されました。

今年は第二次エクワドル・アンデス遠征隊の登頂50年目にあたることから、遠征隊隊長の宮野OBと同マネージャーの村田OBから、遠征に至るまでの苦労話や遠征にまつわる思い出など興味深い話を伺うことができました。稲山会通信30号にも紹介された石原OBは日本百名山登頂にまつわる家族愛に満ちたエピソードを話され、また今回欠席となった高橋OB（33年卒）からは自作の詩が、佐々木OB（H17年卒）からは英国での近況がメールで寄せられ紹介されました。現役学生では山の会初の女性幹事長となる今村さん（3年）、副幹事長の真藤君（1年）、川上さん（2年）ならびにマライアさん（留学生）の4名が参加し、山登りに対する抱負など力強く話してくれました。

故納見OBご夫人からの佐渡の銘酒の差入れもあり、懇親の場では久しぶりの再会に話もはずみ、旧交を温めるなか予定の時間は瞬く間に過ぎ、最後は全員で肩を組み校歌の大合唱で締めくくり来年の再会を誓い合いました。



▲濱田前会長の挨拶



▲秋山新会長の挨拶



▲校歌を歌い来年の再会を誓う



▲エクアドル遠征隊長宮野 OB、背後に隊員村田 OB



▲佐渡から参加の納見夫人にタジタジの吉田 OB



▲100名山登頂の石原 OB を囲んで



▲初代女性幹事長の今村さん、背後に真藤副幹事長

出席者（敬称略）

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 33年卒 | 上田 |
| 34年卒 | 小松 |
| 35年卒 | 小島、宮野 |
| 36年卒 | 宮沢、清水、西山、荒川、山本 |
| 37年卒 | 恩田、鈴木、篠原、村田、卯月、打矢 |
| 38年卒 | 宇野澤、栗又、白倉、吉田 |
| 39年卒 | 秤、真下 |
| 40年卒 | 田野辺、笠原、梅崎、関根、山崎、斎藤（洋）、菊池、井村 |
| 41年卒 | 斉藤（雄）、濱田（前会長）、金子 |
| 43年卒 | 丹治 |
| 45年卒 | 斎藤（延） |
| 46年卒 | 島田、新井、福田 |
| 47年卒 | 林 |
| 48年卒 | 松村 |
| 49年卒 | 常数 |
| 51年卒 | 石原、倉本、倉川 |
| 52年卒 | 柴原 |
| H2年卒 | 勝山 |
| 現役学生 | 今村幹事長（3年）、真藤副幹事長（1年）、川上（2年）、マライア（留学生） |
| ゲスト | 秋山会長、納見様（故納見 OB ご夫人） |

会員近況報告・・・2015 年新年会返信はがきより

役員会記

☆その後和田先輩の消息はわかりましたか？(S36 年卒・西出厚生) / ☆総会・新年会で OB・OG に会えることを楽しみにしています。またご依頼の第二次エクアドルアンデス遠征隊のこぼれ話をさせていただきますが、なにせ 50 年前のことで、記憶がボケ、頭もボケていますので、うまく話せるか心配しております。うまくいかなくても、ごカンベンを。 (S35 年卒・宮野準治) / ☆冬の低山歩きを楽しんでいます。 (S37 年卒・金子弘吉) / ☆今年は歩け歩けをモットーに：①ヒマラヤトレッキング②アラスカトレッキング③スペイン・ポルトガル巡礼トレッキングを順次実行しようと計画しています。同行者を期待して居ります。 (S37 年卒・打矢之威) / ☆昨年は 6 月に E・アンデス遠征 50 周年の集いに、11 月は気象部 OB 会の山行に出席しました。気象部の OB 会では私の体調にあわせた山歩きをしていただき、宮野、恩田先輩はじめ同期の仲間達の昔と変わらぬ気遣いをしていただき感激しました。 (S38 年卒・青木一隆) / ☆1964 年エクアドルアンデスの隊員として、改めて、お礼を申し上げるべき、出席せねばならぬところですが、申し訳ありません。皆様によりしくお伝え頂きますようお願いいたします。 (S39 年卒・小林伸吉) / ☆いつもお世話になっております。少し体調をくずしました。寒さ厳しい折、お体に気を付けてお過ごし下さい。 (S39 年卒・松本公一) / ☆上原さんの「古希登山」、石原さんの「百名山」の寄稿を大変楽しく拝読いたしました。幹事の方々のご努力に感謝いたしております。 (S40 年卒・松村葉子) / ☆元気にテニス、スキーをしています。昨 11 月にホームカミングデイとかで久しぶりに大学を訪ね、鈴木明人さん達と部室まで行きました。昔の部室がなつかしいですね。石原さんの百名山完登はすばらしいですネ。特にファミリーでこれだけの山行をされたことに感動。剣岳やトムラウシにファミリーで登るとはすごい!! 奥様がすばらしいと思いました。兵庫在住とかお会いしたいですネ。 (S40 年卒・井上昌代/神戸在住) / ☆昨年 3 月末に早稲田大学を退職し、それにともなって、早稲田大学山の会会長を退任しました。在任中は十分なことが出来なかったことを大変申し訳けなく思っております。皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。 (S41 年卒・濱田政則) / ☆“乗鞍岳や歩荷の越えし鰯の道”・・・豊。山は見るだけの齢になりました。 (S41 年卒・稲吉豊) / ☆「会報」の紙質を良くしたらしく、写真が鮮明になった。金子治雄さんなどはヒゲ面がバッチリ。上田さん達のご苦勞に感謝します。 (S43 年卒・柊沢克彦) / ☆昨夏、液状化の被害を受けた家の立替を思い立ち、

その後何かと忙殺され山への足が遠のいていますが、落着けばまた近くの山を歩きたいと考えています。昨年 7 月、一度行ってみたいと思っていたドロミテとチロルに行ってきました。(S43 年卒・佐久間正昭) / ☆去年は山の会の仲間と出羽三山(月山・湯殿山・羽黒山)の三山駆けをしました。今年は日光男体山、加賀白山、槍ヶ岳と笠が岳を、初登攀した山岳修験僧に思いを馳せて登りなおしてみたいと思っています。(S43 年卒・太郎良博) / ☆ゲレンデスキーは長く続けたいものです。シーズン初滑りは八方で滑りました。充実した稲山通信 30 号でした。今後も期待しています。現役学生が頑張っていて欲しいものです。(S46 年卒・新井昭夫) / ☆まだ現役で働いていますが、そろそろギアチェンジしようと思っています。(S46 年卒・福田栄一) / ☆いつも HP を拝見させて頂いています。

(S48 年卒・西山一夫) / ☆広告会社電通に 40 年間勤務した後、子会社・電通ワークスの社長をやっております。電通では常務執行役員として営業部門を統括しておりました。現在は管理系会社で毎日静かです。山登りは 5 年前の富士山が最後。もっぱらゴルフで足腰を維持しております。(S48 年卒・中原博) / ☆早稲田大学文化構想学部非常勤講師として週 1 回「現代社会と福祉」を講義しています。来年度(4 月～)は前期に「コミュニティ福祉論」を担当します。(S49 年卒・常数英昭) / ☆毎号楽しく読ませていただいている「稲山通信」、第 30 号の二編には思わず引き込まれました。一つは、現役で同時期だった石原君の「日本百名山完登・山に魅せられて」です。富士山での雪上訓練、冬の上高地―徳澤―蝶ヶ岳(悪天候で蝶ヶ岳から撤退)からは、往時のメンバーの懐かしい顔顔が目に浮かんできました。それ以上に、ご家族とともに長く山に親しみ、百名山を完登された“快挙”に感服しました。二つ目は、「白山山麓紀行」です。諸先輩方は、小生の故郷、福井の名所旧跡を来訪いただき、感謝いたします。3 月には北陸新幹線が金沢まで開通し(残念ながら福井県へは 2025 年度に敦賀まで)、北陸は首都圏から身近の所となります。ちなみに日本百名山では、「荒島岳」があります。皆さま、是非、福井の地にお出かけ下さい。(S50 年卒・小竹正雄) / ☆稲山通信に百名山完登の手記「山に魅せられて」を掲載頂き誠に有難うございました。百名山のお蔭で、何か自叙伝を書けたような気がしています。春にはミヤマキリシマを見に久住山に行く予定です。(S51 年卒・石原順三) / ☆石原先輩の百名山の話聞いてみたいです。久しぶりに新年会に参加したいと思います。(S52 年卒・柴原至) / ☆年に数回低山ハイキングを楽しんでいます。昨年、バイクを購入し、リターンライダーしています。(S52 年卒・亀田吉史) / ☆現役山の会の副幹事長しています。新年会に出席します。(理工機械・真藤幸暉)

学生の積雪期天狗岳登山と雪上訓練

新井昭夫 (S46 卒) 記

2015 年 2 月 23 日～25 日、学生はテント泊、OB は黒百合ヒュッテ泊で、天狗岳登山及び雪上訓練山行を実施。現役 3 名（渡辺容子、今村梨沙、真藤幸暉）、OB3 名（井村英明、島田弘康、新井昭夫）の 6 名

2 月 23 日：茅野駅から島田 OB の車でピックアップして貰い渋の湯へ。荷物を整え 11:30 に出発。最初からアイゼンを装着して登る。雪はしっかり付いている為アイゼンが心地よく食い込む。学生の荷物は 3 日分の食料及びテントで十分な重さ。ザック一つに入りきらずダブルザックにした為、真藤がザックの揺れに苦労しながら登る。又、倒木を廻り込む時にピッケルが引っ掛かり難渋。井村 OB をトップにゆっくりと進む。八方台との分岐まで 1 時間半。小休止後、ここより 2 時間かけ 15:00 黒百合ヒュッテ着。曇り空、風はそれ程強くないが寒さは流石。テント及び小屋宿泊の手続きを済ませ、今晚はテント組（井村 OB、今村、真藤）も休憩料を払い小屋で味噌鍋の夕食。故納見 OB 寄贈のマスターテントは設営が簡単。



▲黒百合平にて全員集合

2 月 24 日：昨夜星が見え、今日は予想通りの晴れ。8:30 黒百合を出発。小屋の前の寒暖計はマイナス 12 度。やや風があるがトレースはしっかり付いている。寒さで雪が締まっている為、アイゼンが効いて夏よりも歩き易い。但し、寒さは厳しい。登山道は雪に殆ど覆われていて、天狗の鼻を廻り込む辺りが一部岩が出ている程度。10:00 東天狗岳到着。赤岳・阿弥陀岳の雪の容姿は圧巻。学生も喜ぶ。西天狗岳ピストン。東天狗は風が強く休んでいても落ち着かないが、西天狗の頂上は穏やか。360 度の展望。北アルプスの連山もはっきり眺望できる。目の前には仙丈・甲斐駒・北岳がくっきり。しばし雪景色を堪能し、学生はキャー言いながら黒百合に 12:30 に下りる。持参したラーメンで昼食。今はゴミを捨てられないので、ラーメンも汁まで完全に食べきらないと駄目で、これは年寄りには苦痛。昼食後 14:00～15:30 小屋の前の斜面で雪上訓練。ピッケルの機能・キックステップ・滑落停止の態勢の習得の基本を 1 時間半実施。斜面がきつくないので滑りにくく、若干消化不良の部分があるが基本の訓練は出来た。真藤は盛んに色々な態勢での停止訓練をやっていた。訓練終了後、小屋で学生も一緒に一休み。外はマイナス 12 度、小屋はプラス 10 度。天国と地獄。いったん小屋に入ると中々外に出られない。学生のテント 2 泊は、この寒さの中良い訓練になっただろう。



▲登頂を喜ぶ現役 3 人（西天狗岳頂上にて）

2 月 25 日 8:30～10:00 の時間帯で、昨日の復習及びザイルワーク・コンテュアス（コンテ）の訓練。天覧山の RCT でザイル操作は何度か経験している為、飲み込みは早い。立木を支点にしてのザイルでの確保、ピッケルを支点にしての確保。そして、コンテでの滑落及び確保の基本訓練。真藤・今村組で何度も繰り返し滑落及び停止・確保の動作の訓練を実施。コンテの基本訓練は出来たであろう。11:00 に黒百合を出発して渋の湯へ下山。温泉に入り、茅野駅まで島田 OB に車で送って貰い、駅で反省会を行い解散。この日も天気は一日もって、渋の湯へ下山中は、白銀の世界に、木々の間から洩れる太陽の光の美しさに、雪山の魅力を、学生も存分に味わうことが出来たことと思う。

春のハイキング「最明寺史跡公園」の報告

幹事 齋藤延雄 (S 45 年卒)
松村幹雄 (S 48 年卒)



▲全員集合

今年の春のハイキングは、昨年同様新人勧誘を兼ねて高松山の東側・松田山（550m）の山腹に位置する最明寺史跡公園を巡るコースで行いました。

当日は早朝に起きた山手線・京浜東北線の事故の影響で出発が1時間程遅れましたが、久しぶりの好天に恵まれ、最明寺史跡公園には期待通り桃・桜・レンギョウの花が咲き乱れ、松田町の“桃源郷”を堪能することができました。また昨年同様海外からの留学生（ドイツ・アメリカ・台湾・中国・フィジー）も参加して、老若男女が入り混じり国際色豊かなハイキングとなりました。15時30分には新松田駅に戻り、駅前の居酒屋で渴いた喉を軽く潤し解散致しました。

日 時： 2015 年 4 月 12 日（日）

参加者： OB 14 名 清水（36 年卒）・恩田（37 年卒）・古林（38 年卒）・松村（38 年卒）
白倉（38 年卒）・吉田（38 年卒）・井村（40 年卒）・斉藤（41 年卒）
杉村（41 年卒）・金子（41 年卒）・齋藤（45 年卒）・島田（46 年卒）
新井（46 年卒）・福田（46 年卒） 敬称略

現役 10 名 今村幹事長・真藤副幹事長・新入生（8 名）



▲疲れの見える OB 達



▲元気な現役女子学生

「投稿」日本301名山を目指して

松本公一（S39年卒）

松本（公）OBが、日本の100名山、200名山を踏破し、300名山を目指していることを、S39年卒の同期の人から聞いて、名山には疎い编者としても、これは偉業だと感服しました。深田久弥の「日本百名山」はあまりに有名ですが、200名山・300名山については、松本OBから情報を頂きました。『300名山は日本山岳会によって1978年に選定された。深田久弥の「百名山」に新たに200座を選定して、加えたものである。200名山は、深田久弥のファンの全国組織「深田クラブ」が1984年に、「百名山」はそのまま踏襲し、その延長線上で新たに100座を加えたものである。「深田クラブ二百名山」と呼ばれる。200名山は300名山より後で作られたかたちとなる。「深田クラブ二百名山」では女人禁制の山上ヶ岳が除かれて、荒沢岳が追加されている』。この山上ヶ岳を名山に入れると、301名山となり、この投稿では「301名山を目指して」となりました。尚、ページ数の都合で、添付山行リストは200名山だけにさせていただきました。（编者注）

301名山を目指して

2015年4月6日記

私の場合、現在まで、300名山は山上ヶ岳をいれ、301座のうち277座踏破です。100名山+98名山+79名山で301名山には少し足りませんが、考え方によればよく頑張った数字とも言えます。思い出が一杯です。皆さんに感謝。

100名山達成

2005年10月7日記

おかげさまで、霧ヶ峰（車山）登頂により「深田・日本百名山」達成になります。早いもので100名山最初の大菩薩行（1958年17歳の時）以来約47年の歳月が経ちました。ゆっくり、あせらず、北海道から九州まで登ってきました。おかげで日本の山々の素晴らしさを満喫でき、長い間楽しい時間を過ごすことが出来ました。感謝。

200名山踏破

2014年12月11日記

早いもので前回100名山完登（2005年霧ヶ峰）から約9年経ちました。100名山は約47年かけてゆっくり楽しみながら登りました。その後2000m級の名山が多い「深田クラブ二百名山」101～200座を目指しました。

2年ほど前から体調を崩し、回復の努力をしましたが、改善の兆しがなく、山登りはきつくなりました。私には時間が少し足りませんでしたね。未登頂を含め、記念に記録として山名と時期を残しておきます。100名山の時に比べ、資料が少なく、完全ではありません。不明瞭な点があればお問い合わせ、また教えてください。

コースは100名山に比べ、宿泊設備も少なく、登山道の整備も不十分ですが、その分だけ難しい、自然豊かな良いロングコースも多いと感じました。

最後になりましたが、同行者の皆様、100名山に比べ、著名ではない200名山にお付き合いいただき、感謝します。100座には2座かけますが、ここまで来られたのは皆さんの協力のおかげです。

真下、井上、寺澤、武藤、関、家族、山の会、城山会、他の皆様。本当に有難うございます。

随想1「深田クラブ日本二百名山」の紹介

2015年1月13日記

200名山コースは100名山に比べ、宿泊施設が少なく、登山道の整備は不十分ですが、その分厳しい自然豊かなロングコースも多いと思います。もちろん種々のコースを取り混ぜたり、のんびりコースもあります。少しばかりコースを取り上げてみたいと思います。

稲山会通信20号に長谷川徹さん(S40年卒)が「100名山から200名山へ」を投稿されています。選ばれた山々は①三嶺(四国)②カムイエクウチカウシ山(北海道)③ペテガリ岳(北海道)④大崩山(九州)と、5~10指に充分入る出色のコースで、妥当なものと思います。

これ以外のお勧めは、ロング・ハードコース、ミドルコースで、ルートファインディング力を必要とします。北から・・・

ハードコース：ニペソツ山、芦別岳、和賀岳、以東岳、荒沢岳、毛勝岳、笹が岳、鋸岳、池口岳、笈ヶ岳

ミドルコース：暑寒別岳、秋田駒ヶ岳(縦走)、焼石岳、船形山、武奈ヶ岳、東赤石山、市房山

往年の体力があれば、お勧めは東北ですが、決めかねてしまい、素晴らしい東北の山が少なくなっていました。

随想2「深田クラブ日本二百名山」への想い

2015年1月13日記

まさかこんな形で終わると思わなかった。「深田クラブ二百名山」登山の話である。2005年8月に霧ヶ峰で100名山100座目を終え、その後7年強で200名山もペテガリ岳とカムイエクウチカウシ山の2座を残すのみになった。この2座は日高の雄峰で、ルートファインディング力やビバークを含め、多少の苦労は覚悟していた。

4年ほど前に真下、井上とカムエクに来たが、三段の滝上部であっさりリタイアした。最近は特に粘らない。雪崩で道路通過が不便な時もあったが、再訪問の機会もなく、その後は延ばし延ばしだった。

2012年ペテガリ岳は私の単独行。6月と9月に登ったが、頂上直下で時間切れの退却。ビバークもあり残念。

2011年7月頃から予兆があったのか、体調不良で体力は落ちるばかり。考えた末、昨年に登山は無理、200名山、301名山も無理と中止の判断をしました。

普通に考えれば、2005年の霧ヶ峰から10年で200名山はほぼ達成、301名山もあと20数座残すのみとなり、それを思えば楽しく過ごせます。登頂しなくてもよいのです。途切れたらそれはそれですね〜と思っていましたよ。

少しでも回復すると良いのですが。「努力」と「楽しみ」がキーワードでしょうか。

▲2008 年北海道ニベス岳



▲2009 年雲仙・普賢岳
(山の会 真下・井上同行)

▲2011 年荒沢岳 (山の会 真下同行)



198座登頂／200名山

2014. 12. 11

「深田百名山」の主旨に沿って深田クラブ が1984年に選定した。日本200名山のうち101～200座。荒沢岳を含む。							
○登頂 △試登 ,中途下山 同行者()は家族 *年月日は古い方を優先							
No	山 名	標高	都道府県		年月日	備考	同行者
101	天塩岳	1558	北海道	○	2010/8/31	北見山地の最高峰..大雪、利尻見る	真下、井上
102	石狩岳	1967	北海道	○	2012/7/2	ピバーク、石狩連峰主峰	
103	ニベソツ山	2013	北海道	○	2008/7/29	百名山有力候補だった。大展望。	真下、井上
104	カムイエクウチカウシ山	1980	北海道	△	2010/8/28	三段の滝上部迄、日高第2の高峰	真下、井上
105	ペテガリ岳	1736	北海道	△	2012/9/5、6/29	ピバーク、頂上直下迄、時間切れ、	
106	芦別岳	1726	北海道	○	2012/9/7	夕張山地最高峰。岩場あり。	
107	夕張岳	1668	北海道	○	2008/8/1	花の名所	真下、井上
108	暑寒別岳	1492	北海道	○	2011/7/19	湿原、展望よし	真下、井上
109	樽前山	1041	北海道	○	2010/8/26	東山迄(登山禁止)	真下、井上
110	駒ヶ岳	1131	北海道	○	2011/7/15	馬の背(登山禁止)	真下、井上
111	白神山	1235	青森	○	2003/8/7	白神山地の主峰	(琴江)
112	姫神山	1124	岩手	○	2008/5/31	北上川を挟んで岩手山と対峙	
113	秋田駒ヶ岳	1637	秋田	○	1999/6/19	乳頭温泉、高山植物が良い	関
114	和賀岳	1440	岩手 秋田	○	2006/7/25	和賀山塊主峰、希少植物の宝庫	(琴江)、厚見
115	焼石岳	1547	岩手	○	2000/6/17	高山植物の宝庫、夏油温泉	関
116	栗駒山	1627	岩手 宮城 秋田	○	2000/6/18	高山植物と温泉	
117	神室山	1365	秋田 山形	○	2008/5/29	主峰、ピラミダルな峰、アルペンの。	
118	森吉山	1454	秋田	○	2006/7/25	ブナ原生林、クマゲラ、昔マタギ	(琴江)、厚見
119	以東岳	1772	山形 新潟	○	1963/8/2	鳥海朝日P、タキタロウ(山の会合宿)	宇留賀、井上、高橋
120	船形山	1500	宮城 山形	○	2003/5/24	残雪、青空、タムシバの花、主峰	
121	杵差岳	1636	新潟	○	1959/8/4	飯豊連峰縦走	学院WV山行
122	ニ王子山	1420	新潟	○	2004/5/22	飯豊連峰の展望台	寺澤
123	御神楽岳	1386	新潟	○	2004/5/28	カタクリの花、岩場、下越の谷川岳	
124	守門岳	1537	新潟	○	2002/10/13	新潟県のほぼ中央、秀麗な山容	関
125	中ノ岳	2085	新潟	○	1962/6/30	魚沼三山～山の会山行	小林、岡崎、井上(吉)
126	八海山	1778	新潟	○	2006/7/11	信仰登山の跡、鎖場多い	寺澤
127	荒沢岳	1969	新潟	○	2011/9/28	銀山湖南岸、鎖場多い	真下
128	佐武流山	2192	新潟 長野	○	2009/9/7	健脚向き	
129	鳥甲山	2038	長野	○	1970/秋	狭い岩稜、翌日、苗場山へ	木場
130	帝釈山	2060	福島 栃木	○	2009/10/11	2002/10/20田代湿原(琴江)	寺澤、武藤
131	会津朝日岳	1624	福島	○	2004/5/27	北壁が有名	
132	女峰山	2483	栃木	○	1997/5/7	日光表連峰を形成	
133	仙ノ倉山	2026	群馬 新潟	○	2003/7/27	谷川最高峰	飯泉、井上、同期会 後
134	白砂山	2140	群馬 長野	○	2002/8/9	三県の境	
135	岩菅山	2295	長野	○	2009/9/8	志賀の顔	
136	浅間隠山	1757	群馬	○	2000/12/3	角落山塊の最高峰、浅間山展望	(琴江)
137	榛名山	1449	群馬	○	2002/3/9	掃部ヶ岳、8/10榛名富士(琴江)	望月、関
138	妙義山	1104	群馬	○	2004/11/23	紅葉に映える岩峰が絵になる	真下
139	荒船山	1423	群馬 長野	○	1960/5/21	神津牧場と有名なハイクコース	山の会新人歓迎
140	御座山	2112	長野	○	2003/9/27	西上州～佐久の最高峰	関 寺沢 武藤
141	武甲山	1304	埼玉	○	1989/11/18	登頂は10回位か。1999/12/18駒クラブ	
142	白石山	2036	埼玉	○	2003/10/29	和名倉山、奥秩父らしい良い沢あり	真下
143	茅ヶ岳	1704	山梨	○	1998/8/22	深田久弥氏の没した地	関
144	乾徳山	2031	山梨	○	1990/4/30	岩稜と展望	(陽)
145	大岳山	1266	東京	○	1989/11/5	中三の頃、三山縦走。20回位か	宮内、(陽)他多数
146	三ツ峠山	1785	山梨	○	2001/4/20	10回位か。RCT.	多数、JWS
147	御正体山	1682	山梨	○	1996/11/17	道志山塊主峰、畔が丸から縦走	
148	毛無山	1964	山梨 静岡	○	2005/12/2	富士の展望台	真下
149	愛鷹山	1504	静岡	○	1964/9/4	位牌ヶ岳あり	
150	天狗岳	2646	長野	○	1987/8/9	双耳峰	(岳、陽)

151	黒姫山	2053	長野	○	2009/8/9	自然豊かな、ニコルさんも山麓に住んでいる	
152	戸隠山	1904	長野	○	2002/8/7	神話と信仰の山	(琴江)
153	飯縄山	1917	長野	○	2006/8/16	北信五岳の一つ、好展望	(家族)
154	雪倉岳	2611	新潟 富山	○	2007/8/16	北ア最北の静かな山群	寺澤、武藤
155	針ノ木岳	2821	富山 長野	○	2008/9/14	大雪渓と針の木遭難で有名	
156	烏帽子岳	2628	富山 長野	○	1958/7/26	縦走予定が連日の雨で烏帽子だけ	学院WV
157	赤牛岳	2864	富山	○	1962/8/2	合宿黒部川東沢P、読売新道開通前	井上(吉)他
158	毛勝山	2414	富山	○	2011/9/26	ロングコース。途中テントを張る	真下
159	奥大日岳	2611	富山	○	2009/7/24	劔岳を見ながらの縦走	寺澤、武藤
160	有明山	2268	長野	○	2010/7/29	信濃富士、	真下
161	餓鬼岳	2647	長野	○	2007/4/5	常念山脈の北端、近くに唐沢岳	丸山
162	燕岳	2763	長野	○	1988/8/13	花崗岩が美しい。表銀座登山口。	(88/8/家族)
163	大天井岳	2922	長野	○	1961/8/5	合宿黒部東沢チーフLP、	C.L. 東、柚森
164	霞沢岳	2646	長野	○	2011/10/10	K1ピークからの大展望と徳本峠越	武藤
165	鋸岳	2685	山梨 長野	○	2009/8/28	名前から連想するように鋭い岩稜	
166	農鳥岳	3026	山梨 静岡	○	1992/8/2	白根三山縦走	(琴江)
167	上河内岳	2803	静岡	○	2012/7/28	お花畑、南ア南部の展望	武藤
168	池口岳	2392	長野 静岡	○	2009/10/31	ビバーク、ロングコース	
169	大無間山	2329	静岡	○	2009/10/29	南ア深南部	
170	櫛形山	2052	山梨	○	1992/7/11	アヤマの群落	(琴江)
171	笹ヶ岳	2629	山梨 静岡	○	2011/6/1	ルートファインディングの力が必要	
172	七面山	1989	山梨	○	1994秋頃	日蓮宗の聖山	
173	小秀山	1982	長野 岐阜	○	2008/10/16	裏木曽の名峰	
174	経ヶ岳	2296	長野	○	2007/8/11	中ア北端に位置する山塊の主峰	
175	南駒ヶ岳	2841	長野	○	2010/9/22	カールあり	
176	安平路山	2363	長野	○	2010/9/24	静かな頂き	
177	金剛堂山	1650	富山	○	2008/10/13	奈良時代から山岳信仰の山、	
178	笈ヶ岳	1841	石川 富山	○	2010/5/15	秘峰	真下
179	大目ヶ岳	1709	岐阜	○	2008/10/14	ひるがの高原、白山連峰の眺望	
180	位山	1529	岐阜	○	2008/10/15	飛騨の名山	
181	能郷白山	1617	岐阜	○	2004/9/15	山スキーにもよし	(琴江)
182	御在所山	1212	滋賀 三重	○	2010/5/29	鈴鹿山脈の主峰、下山ロープW	
183	釈迦ヶ岳	1800	奈良	○	2010/5/27	大峰山脈	
184	伯母子岳	1344	奈良	○	2009/6/3	林道から展望	
185	金剛山	1125	奈良	○	2009/6/4	ピラミット型で大阪の山のシンボル	
186	武奈ヶ岳	1214	滋賀	○	2010/5/28	関西で人気、滝、湿原、自然林	
187	氷ノ山	1510	兵庫 鳥取	○	2009/6/1	因但国境山塊の盟主	
188	上蒜山	1202	鳥取 岡山	○	2009/5/30	草原、展望良い	
189	三瓶山	1126	島根	○	2009/5/25	山陰、秀麗な山容、石見富士	
190	三嶺	1893	徳島 高知	○	2005/5/29	ミツバつつじの大群落、雰囲気良	真下 井上
191	東赤石山	1706	愛媛	○	2008/5/16	五葉松、お花畑	真下、井上
192	笹ヶ峰	1859	愛媛 高知	○	2006/9/30	山頂は笹原、コメツツジの群落あり	真下、井上
193	英彦山	1200	福岡 大分	○	1982/秋	霊山	(岳、陽)
194	雲仙岳	1359	長崎	○	2009/5/15	紅葉と霧氷、噴火と溶岩、展望	真下、井上
195	由布岳	1583	大分	○	1980/5/	由布温泉から好展望	(岳、陽、敦子)
196	大崩山	1644	宮崎	○	1985/7/28	あけぼのツツジと巨岩	(岳)
197	市房山	1721	熊本 宮崎	○	1983/2/	九州南部の山々が一望	
198	尾鈴山	1205	宮崎	○	2009/5/13	瀑布群	真下、井上
199	高千穂峰	1574	宮崎	○	1998/1/2	山姿は天を衝く鉾のようだ、霧島縦走	同期会時
200	桜島	1117	鹿児島	○	2009/5/11	湯之平展望所迄、登山禁止、車道	真下、井上
山名、標高、都道府県他は：山と溪谷社「山の便利帳2014」より							

早大エクアドルアンデス遠征隊応援歌

本年の新年会の講演では1964年のエクアドルアンデス遠征・アルタール初登頂の記録を隊長宮野準治OBと隊員村田進OBに回顧してもらいました。この遠征の出発時に当時の厚生部員が、5月部山行で剣岳に向かったのですが、見送りに行けないお詫びに上野駅で寄せ書きをしました。この寄せ書きは村田OBが保管しており、最近編者に届きましたので、50年後に一部をご披露しておきます。

編者記

エクアドルアンデス遠征隊の皆様へ

本来ならば我々厚生部現役一同、晴海へ送りに参じるところでありますが、28日に部山行（剣岳定着）へ出発しなくてはならない為、失礼させていただきます。そこで現役の連中で寄せ書きして部員の佐藤姉に託しましたので、船旅のつれづれにお読みになって下さい。

昭和39年4月28日 午後6時 上野駅にて 早大山の会厚生部

遠征ご出発おめでとうございます。ご成功を祈っています。

人生において記念すべき時、それは夢が現実になる瞬間だと思います。夢を現実となされた七人の先輩の努力に敬意を。その記念すべき瞬間に祝福を。旅、それは海であれ、山であれ、町であれ、田園であれ、夢と希望と冒険と勇気をはぐくんでくれます。それが赤道を越え、日付変更線を越える異郷への旅であれば尚のこと……。アルタール！是非登ってください！ 俺たちも3月の鹿島での借りを5月の剣で返します。7人のエトランゼーに幸福の女神がほほ笑まれんことを。

斉藤洋任（4年）

遠征隊の皆様ご出発おめでとうございます。

山の好きな人が描く夢、それは氷河の、岩の山々。僕たちの道を開いてくれたのも先輩です。僕もそんな夢を見ながら剣に向かいます。八ッ峰、源次郎、そのナイフリッジは遠い山に繋がっています。エクアドルの女の子には目もくれず、一生懸命登ってきてください。ご成功をお祈りいたします。

井村英明（4年）

明日はいよいよ出発ですね。海と山、そして太陽の異国の街に。思っただけでゾクゾク……。そして深い羨望の溜息がやってきます。お花好きの皆様。エキゾチックな強烈な花びらの香りに魅せられて、ニッポンのあの梅や桜のしめやかなおんなのこを忘れてしまったなどということのないように。お帰りになる日までお身体だけは、ほんとに、細かく気を配って下さいませ。ではお元気で行ってらっしゃい！

佐藤祐子（4年）

エクアドルアンデス遠征 万歳

外国に出て日本という国を客観的に眺めること、これだけでも意義のあることと思いますが、行ったからには最大の目的、「ピークを踏むこと」に専念してください。皆様の成功は我々現役会員にとっても非常な喜びであります。我々厚生部員8名は夢に描いた（この点では皆様のエクアドルと同じだと思います）雪の剣に意気と力でぶちあたってまいります。それゆえ皆様の晴れ姿を眺められないのが残念です。異国の地では皆様もさぞかしもてることでしょう。美しい女性の誘惑に負けず、専ら山に登ることで、早く日本にお帰り下さい。

斉藤雄二（3年）

アンデス遠征隊の皆さん お元気で行ってらっしゃい。

お土産もアルタール征服するまで欲しがりません。「欲しがりません勝つまでは」の気持ちです。日本の女性だけでは物足りず、南米の女性にも手を付けようとする皆さんの元気な姿でのお帰りを楽しみに。

海野俊男（3年）

ゴルフコンペの報告

斉藤雄二（S41年卒）記

3月24日、千葉の浜野ゴルフクラブで稲山会有志によるゴルフコンペが行われました。後期高齢者（近い人も含む）組と前期高齢者組に分かれてプレーをしたのですが、成績は後期高齢者組の方が良く、前期高齢者は苛められました。天気晴朗なれど風強しで、海風に弱い埼玉県組は泣けましたが、楽しい1日でした。

参加者は小松雅美（S34年卒）、東正躬（S37年卒）、宇野澤虎雄（S38年）、吉田稔



▲参加者全員集合

（S38年卒）、斉藤雄二（S41年卒）、丹治和男（S43年）、新井昭夫（S46年卒）、福田栄一（S46年）の8名でした。

秋のハイキング「御嶽山～大岳山」のご案内

松村幹雄（S48 年卒）記

今年は暫く続いた丹沢周辺から舞台を奥多摩に移します。御岳山にはケーブルカーで登り、奥多摩三山・200名山の大岳山を経て、馬頭刈尾根から白倉に下りるコースを計画しました。歩行時間は4時間程度になりますが、登りが少なく、下り主体で奥多摩や富士山の展望も楽しめるコースです。現役学生も交え、秋の1日、奥多摩のハイキングを楽しみましょう。皆様是非お誘い合わせのうえご参加下さい。

日 時： 2015 年 10 月 11 日（日） 9 時 40 分集合

集合場所： JR 奥多摩線 御嶽駅 改札口
JR 新宿 8：19 発 ホリデー快速「おくたま 5 号」立川 8：47、御嶽 9：36 着が便利

行 程： 御嶽駅（バス 10 分）→ケーブル下（徒歩 5 分）→滝本駅（ケーブル 6 分）→御嶽山駅（徒歩 25 分）→御嶽神社（徒歩 1 時間 20 分）→大岳神社（徒歩 20 分）→大岳山（徒歩 15 分）→大岳神社（徒歩 20 分）→白倉分岐（徒歩 1 時間 30 分）→白倉（バス 30 分）→武蔵五日市駅 解散

昼 食： 各自持参ください。

幹 事： 松村幹雄（S48 卒） mykof04@s5.dion.ne.jp 080-5175-9695

※ ご面倒ですが、参加予定者の概数を把握したいので、参加しようかなとお考えの方は 10/2 迄に幹事宛にご連絡下さい。雨天の場合は中止とします。

訃 報

2015 年 3 月 26 日に木場純一さん（S39 年卒）が逝去されました。
故人を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

2014年度会計報告（2014年1月1日～12月31日）

稲門山の会

単位：円

項 目	収 入	支 出	残 高	備考欄
前年度からの繰越金（預金・現金計）			4,511,409	
年会費（振込分）	374,000			86名分（特別30,000円含む）
年会費（新年会時入金分）	172,000			4,000円 x 43名分
新年会会費	312,000			6,000円 x 52名分
預金受取利息	461			
雑収入	1,399			春のハイキング懇親会余剰金
小計	859,860			
新年会費用		374,850		大隈会館支払
関野吉晴講演会謝金		100,000		
学生山の会のHP作成費用（エッセティア社）		34,230		
学生の山の会HP管理費（NTT スマートコネクト社）		61,946		月4,725円 & 月4,860円
稲門山の会HP管理費（NTT スマートコネクト社）		26,850		月2,625円 & 月2,700円
新HP作成・管理費用（ホームページ・ビルダーサービス）		49,630		13,830円+35,800円
稲山会通信印刷費用		226,152		29号 & 30号（康印刷）
東京都山岳連盟山岳保険		28,920		
銀行振込手数料		3,447		
振替用紙費用		1,102		1,000枚
新人勧誘費用		29,106		ネット07名の交通費補助
新人募集資料代		8,700		パンフレット印刷 & コピー費用
春のハイキング費用		25,000		4月13日 矢倉岳
天覧山R C T時の費用		43,210		2回（8月31日 & 11月16日）
山の会共同装備購入費用		102,828		
小計		1,115,971		
収支合計	859,860	1,115,971	4,255,298	単年度収支 ▲256,111
項目別預金残高内訳書				
一般会計：郵便公社預金			498,760	通帳残高額を確認済
年会費入金振替便口座			1,472,398	通帳残高額を確認済
みずほ銀行口座			269,296	通帳残高額を確認済
特別会計：遭難対策費（郵便定期預金）			1,000,000	通帳残高額を確認済
遭難対策費（みずほ銀行定期預金）			1,014,844	通帳残高額を確認済
小計			4,255,298	

上記の会計報告を致します

会計幹事 新井昭夫

（尚、別途会計監事が銀行通帳残高書と照合済です）

編 集 後 記

毎回稲山会通信でも報告させてもらっている現役の活動ですが、本年は新人も多数入部し、自立した活動が出来るようになった模様です。上田代表他関係者の皆様、ご苦労様でした。

今回は松本公一 OB（S39 年卒）の「301 名山を目指して」が目玉です。100 名山を完登し、200 名山も踏破し、301 名山達成も間もなくという時、体調を崩された由、元気になられて 301 名山を完登されることを祈念しています。

稲山会通信に対する反応は余り無いのですが、30 号の上原 OB、石原 OB の投稿には、感銘したとのレスポンスがありました。たぶん現役時代の山登りと OB になっての山登りが交錯しているところが良かったのでしょう。上原 OB の重荷を背負っての針ノ木雪渓を登る写真を見て、自分のこととして、思い出された方が多かったのではないのでしょうか。

さて編者は今年 4 月後半に飛騨・安曇野・長野と車で走ったのですが、新穂高温泉に泊まった翌日が快晴で、家内と新穂高ロープウェイに乗り、笠ヶ岳・双六岳・槍ヶ岳、穂高岳を満喫してきました。1962 年新人の時、夏合宿（平パーティー）で三俣蓮華から笠ヶ岳をピストンしたことや、1968 年若手 OB として、春山合宿（本隊は抜戸南尾根から穂高を狙う）の中崎尾根サポート隊に参加し、槍ヶ岳に登ったことを懐かしく思い出しました。「岩と雪」は遠くなってしまいましたが、山とはいつまでも関わっていたいものです。

齊藤雄二（S41 年卒）記



▲笠ヶ岳から双六方面



▲槍ヶ岳遠望